

どこカメ® 音声機能簡易マニュアル

2015年6月15日

目次

I. インストール

クライアントのインストール	3
付記：サーバのインストールと設定	6
サーバのインストール.....	6
サーバの設定.....	7
1) Ini ファイル設定.....	7
2) SuperUser 設定.....	8
3) 管理者グループに属するユーザ作成	9

II. 設定

【1】 Javatel クラウドサーバ	10
【2】 クライアント	11
1) 音声設定のウィザード.....	11
2) 証明書ウィザード.....	16
3) サーバ登録・接続.....	16
4) 各種設定.....	18
4-1. プッシュ・トゥ・トーク設定	18
4-2. ショートカットキー設定.....	19
4-3. ユーザ登録	21
4-4. ACL(アクセスコントロール).....	22
4-5. グループ	25
5) チャンネル間のやりとり	27
6) アクセストークン.....	28

更新履歴

2014年1月11日	V1.0 作成
2014年1月31日	V1.1 作成 「6) アクセストークン」を追加
2014年3月13日	V1.9 作成
2014年3月15日	V1.9.1 作成 クラウドサーバ ドメイン名追記
2015年6月15日	V1.9.2 作成 I. インストールの図を刷新。サーバインストール部分を追記。

このマニュアルはどこカメ®の音声機能クライアントおよびサーバ（Windows 版）についての簡易マニュアルです。

どこカメ®音声機能の通信はサーバを介して行われます。クライアントからサーバに接続することで、VC ボイスチャット機能を使用することができます。またクライアントソフトにおいて ACL（アクセスコントロール）やメンバーのグループ登録、アクセストークンでチャンネルやユーザごとに権限を設定することができます。

マイクとスピーカを用意して、PC に接続してご利用ください。

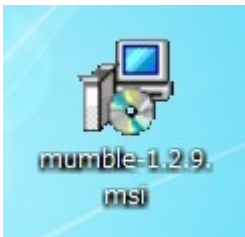
I. インストール

クライアントのインストール

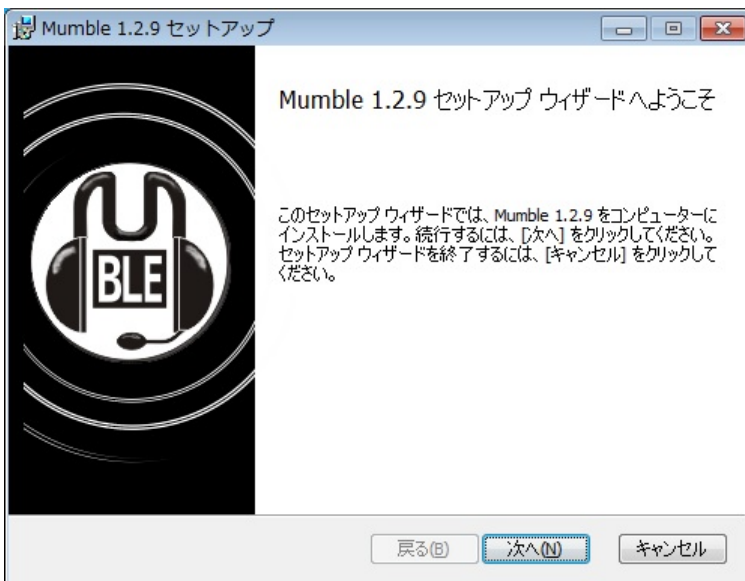
どこカメ®音声機能を利用するにはサーバとクライアントが必要です。クライアントからクラウドサーバもしくは自営のサーバのいずれかひとつにログインして、VC ボイスチャット機能を使用します。

以下ではどこカメ®音声機能のクライアント（Windows 版）のインストール方法を説明いたします。

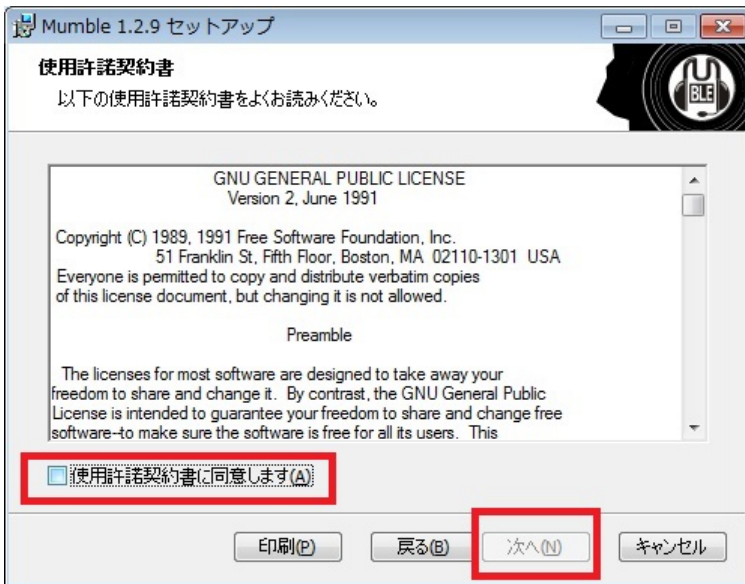
（*サーバのインストールおよび設定については付記を参照してください。）



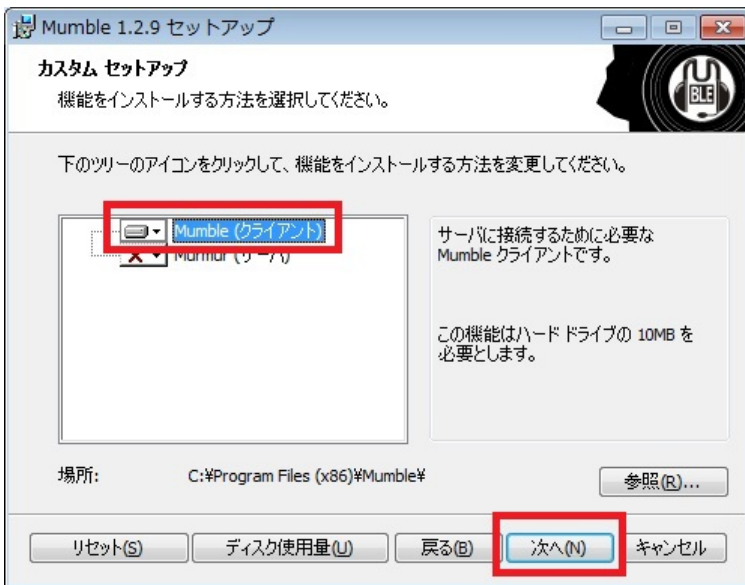
1) どこカメ®音声機能(Windows 版)のインストーラをクリックしてインストールを開始します。



2) セットアップウィザードが表示されますので、「次へ(N)」をクリックします。

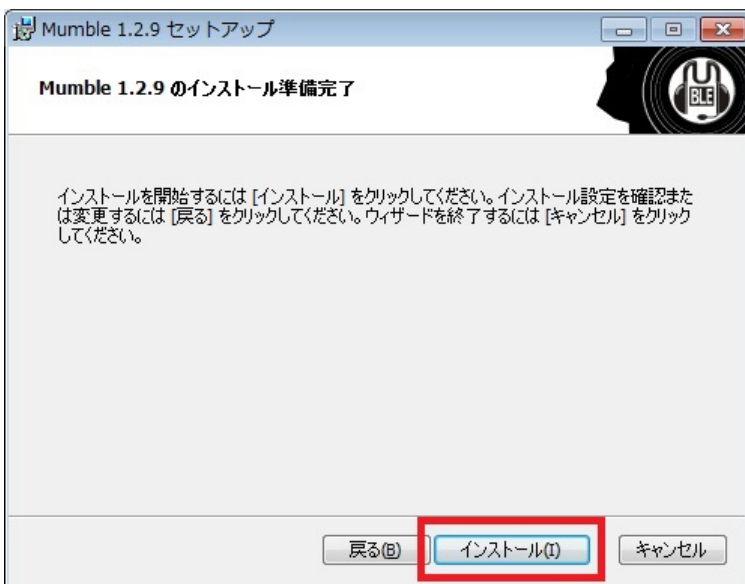


3) 使用許諾契約書を読み、同意するにチェックを入れた後、「次へ(N)」をクリックします。

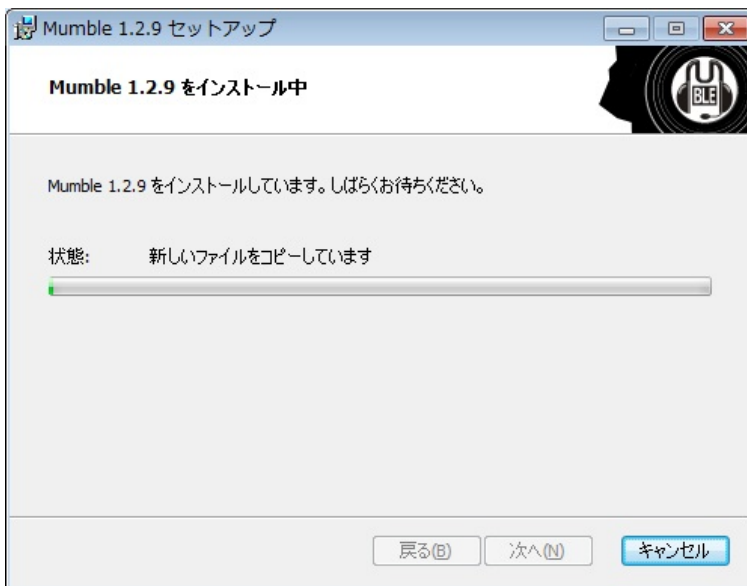


4) クライアントのみ選択してインストールします。左図の状態です。「次へ(N)」をクリックします。

*サーバのインストールについては付記を参照してください。



5) 準備が完了したので「インストール(I)」をクリックして、インストールを開始します。



- 6) インストール中。
*もし完了後に PC の再起動をうながすメッセージが表示された場合、「OK」をクリックしてください。



- 7) インストールが完了したら、「完了(F)」をクリックしてください。

再起動が必要な場合は PC を再起動してください。

以上でクライアントのインストールは完了です。

付記：サーバのインストールと設定

ここではサーバのインストールおよび設定方法を説明します。

サーバは必要に応じてインストールしてください。インストールする前によく設定方法を読んでから行ってください。

サーバのインストール

サーバのインストールはクライアントと同じインストーラから行います。

インストールウィザード中、「カスタム セットアップ」でクライアントだけでなくサーバも同時にインストールします。その他のインストール作業はクライアントのみの場合と同様です。



サーバの設定

サーバのインストール後は ini ファイルの設定と SuperUser（管理者権限をもつユーザ）の設定をする必要があります。その後で、管理者グループに属するユーザを作成します。

1) Ini ファイル設定

ini ファイルはサーバ起動時に読み込まれる基本的な設定ファイルです。サーバをインストールした PC の Program files 内の「Mumble」フォルダにある「murmur.ini」を編集することによってサーバの設定を行ないます。

(*64 ビット OS の場合は Program files (x86)に「Mumble」フォルダは存在します。)

サーバで使用するポート番号の変更や接続時のパスワードの設定などが行えます。

* 「キー=値」形式で設定を入力します。

「#」を行の冒頭につけると、コメントアウトできます。

ini ファイル設定変更例 (下線部)

- ・ ウェルカムメッセージ

```
# Welcome message sent to clients when they connect
welcometext="<br />Welcome to this server running <b>Murmur</b>.<br />Enjoy your
stay!<br />"
```

- ・ ポート番号

```
# Port to bind TCP and UDP sockets to
port=64739
```

- ・ サーバ接続のパスワード

```
# Password to join server
serverpassword=                    
```

- ・ クライアントから送信される最大データ量

```
# Maximum bandwidth (in bytes per second) clients are allowed
# to send speech at.
bandwidth=72000
```

- ・ サーバに同時アクセスできる人数

```
# .Maximum number of concurrent clients allowed
users=100
```

2) SuperUser 設定

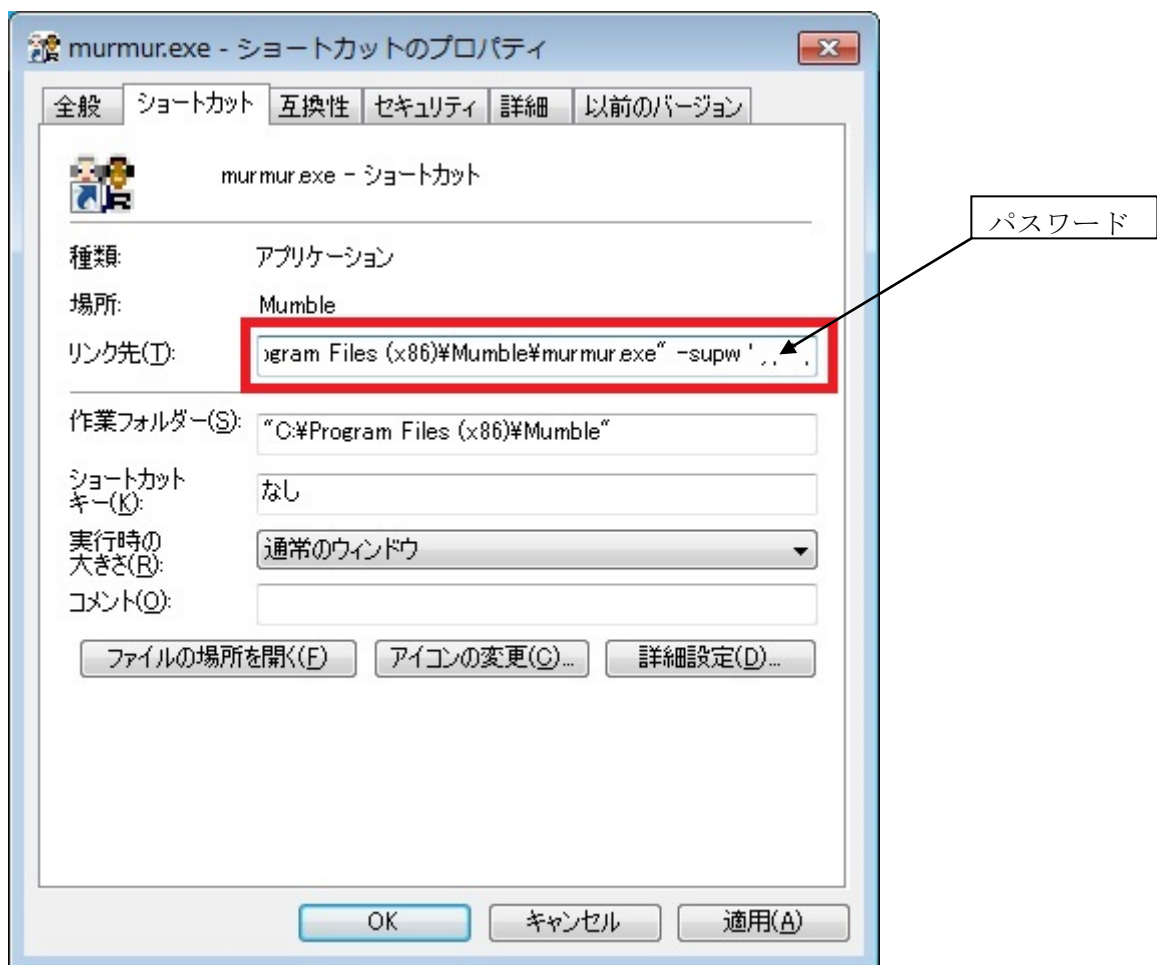
サーバをインストールした PC 上で SuperUser (管理者権限をもつユーザ) の設定を行ないます。

- 1 Program files (もしくは Program files (x86)) にある **¥Mumble¥murmur.exe** のショートカットをデスクトップ上に作ります。
- 2 作成したショートカットを右クリックし、プロパティを開きます。
リンク先の最後に **[-supw ****]** を追加します。
****には管理者用のパスワードを設定してください。

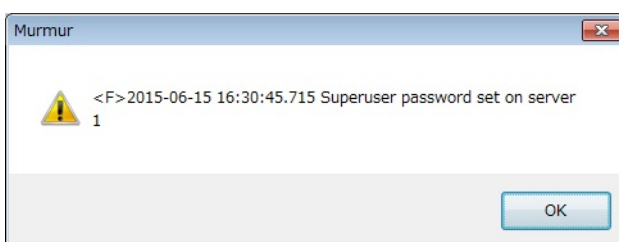
"C:¥Program Files¥Mumble¥murmur.exe"

↓↓↓↓

"C:¥Program Files¥Mumble¥murmur.exe" -supw ****



- 3 作成したショートカットから **murmur.exe** を起動します。



左図の様な

[日付 : **Superuser password set on server1**]

というダイアログが表示されます。

- 4 ダイアログが出たら、一度 **murmur** を終了させ、ショートカットから上記 2 で追記した文字列を削除します。
- 5 文字列を削除したら、**murmur.exe** を管理者権限で起動させます。
- 6 クライアントを起動させ、ユーザ名：**SuperUser**、パスワード：上記 2 で設定したものでサーバに接続します。
- 7 デフォルトでは管理者権限をもつユーザは **SuperUser** のみです。**SuperUser** でサーバにアクセスし、他のユーザにも管理者権限を与えることができます。(admin にグループ設定)

3) 管理者グループに属するユーザ作成

管理者グループ(admin グループ)に属するユーザを作成します。管理者権限をもつユーザ:SuperUser はデフォルトでどのチャンネルにおいても発話できません。代わりに SuperUser と同等な権限をもつユーザを作成し、サーバ運用に用います。このユーザは発話可能です。管理者グループに属するユーザは PC クライアントのユーザに限ります。以下ではサーバ PC のクライアントユーザに管理者権限を付与する方法を説明します。

I) ユーザ登録

設定したパスワードでサーバにログインして、ユーザ登録をします。

詳細は II. 設定 【2】 クライアント 3)サーバ登録・接続および 4) 各種設定 4-3. ユーザ登録をご覧ください。

II) SuperUser で登録したユーザに管理者権限を付与する。

(1) I) でユーザ登録が済んだあとは、一度サーバから切断します。

(2) SuperUser でサーバに入りなおします。

サーバを選択し、「編集」をクリックして、以下の情報を入力してサーバに入ります。

ユーザ名：**Superuser**

パスワード：(SuperUser 用に設定したパスワード)

(3) SuperUser でサーバにログインしたあと、「Root」チャンネルでグループ設定を行ないます。

グループ：「admin」をタブから選びます。

メンバー：I)で登録したユーザ名を入力

OK をクリックして、登録完了です。

(4) SuperUser でのサーバ接続は切断し、I)で登録したユーザでサーバに入ります。

これでI)で登録したユーザには管理者権限が付与されています。これで SuperUser でなくても管理者としてサーバを運用できます。

*登録ユーザであれば、他のユーザにも管理者権限を付与できます。

II. 設定

【1】 Javatel クラウドサーバ

Javatel のクラウドサーバへのアクセス設定です。

アクセスアドレス： dococame1.sun.ddns.vc

ポート： 64739

パスワード： ****

詳細設定情報は別紙設定表を参照してください。

【2】 クライアント

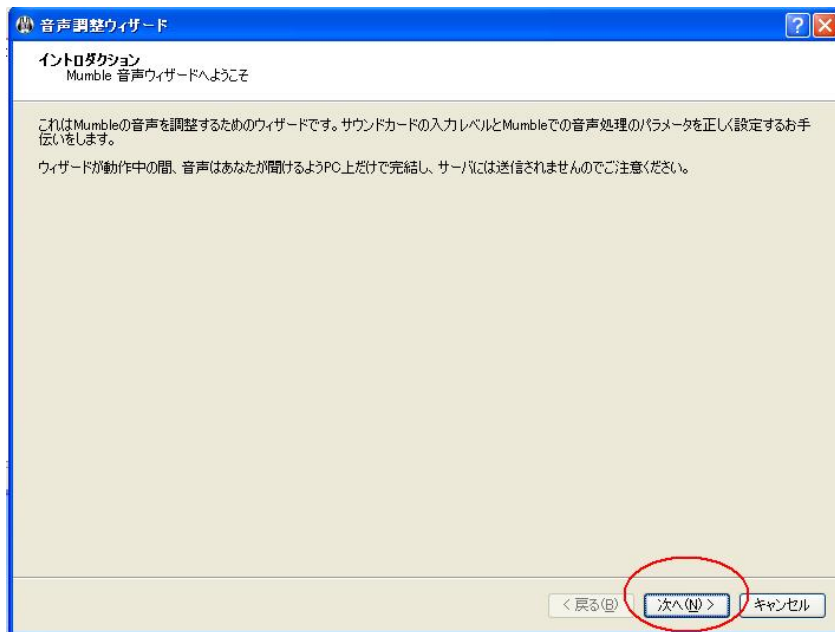
クライアントを起動してサーバに接続します。

1) 音声設定のウィザード

クライアント初回起動時に音声調整ウィザードが起動します。

ここでキャンセルしても、後で音声調整をすることも可能です。

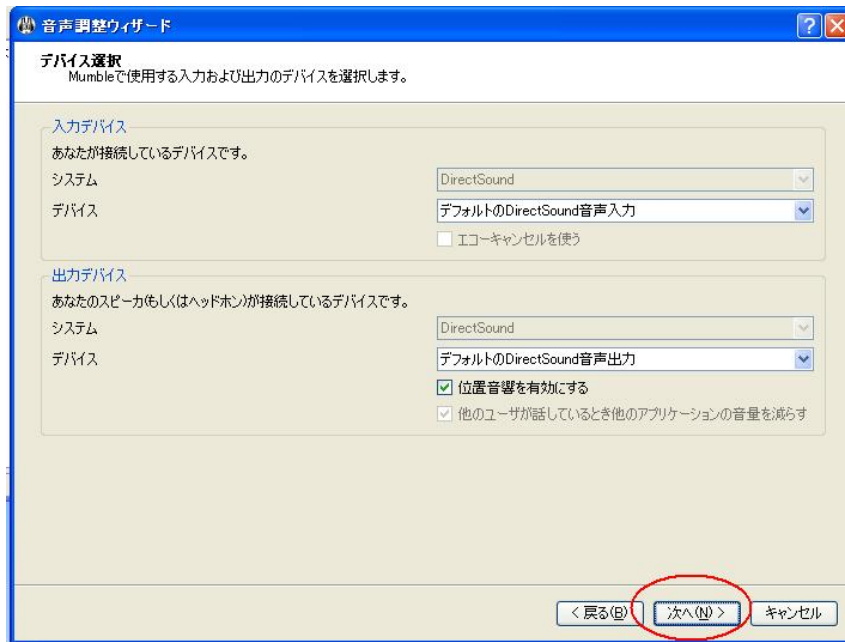
1-1. ウィザードの開始。「次へ」をクリックします。



1-2. 使用する音声の入出力デバイスを選択して、「次へ」

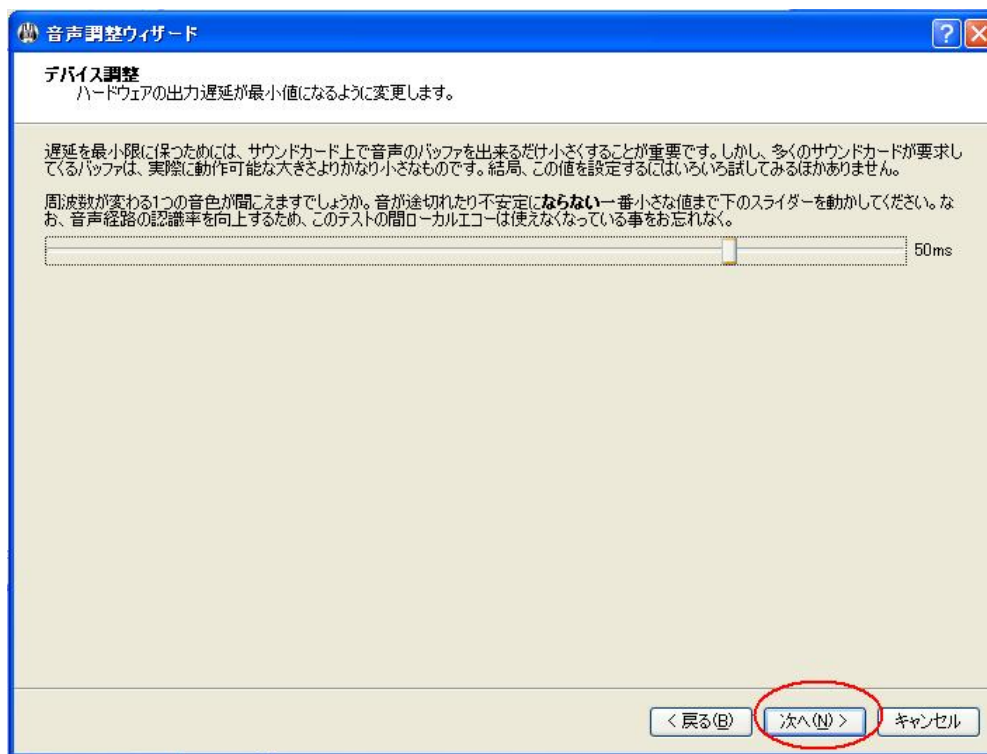
*入力デバイス：「エコーキャンセルを使う」有効にします。

*出力デバイス：「位置音響を有効にする」チェックを外します。



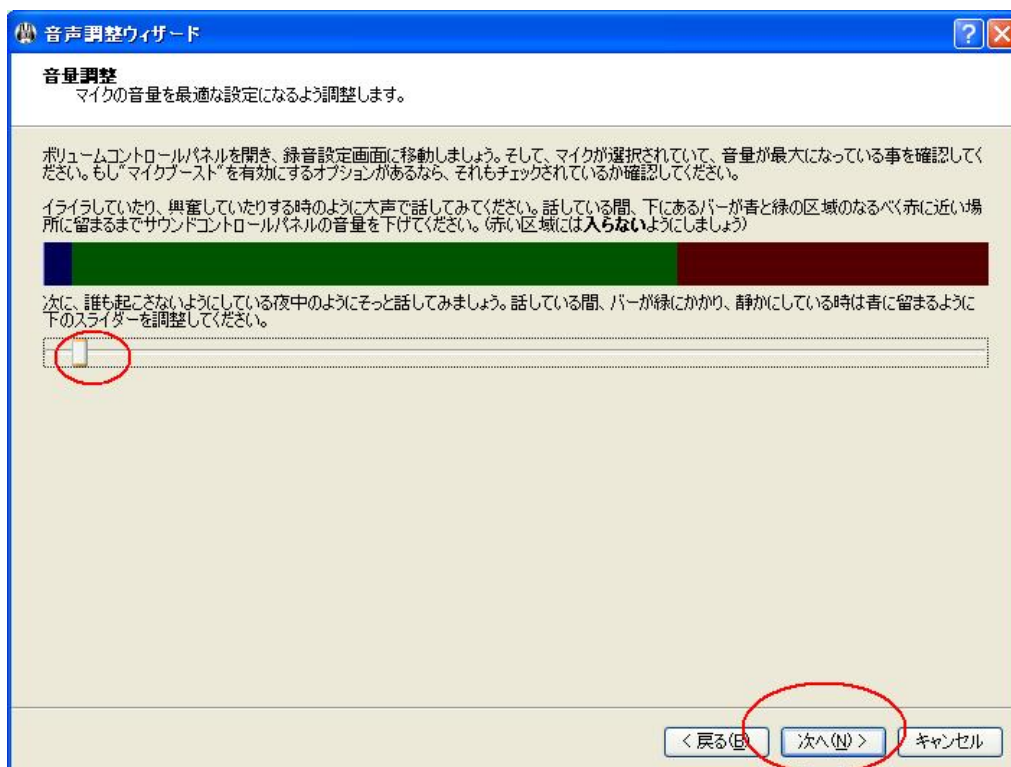
1-3. デバイス調整

聞こえる音が途切れたり、不安定にならない一番小さな値までスライダーを動かします。



1-4. 音量調整

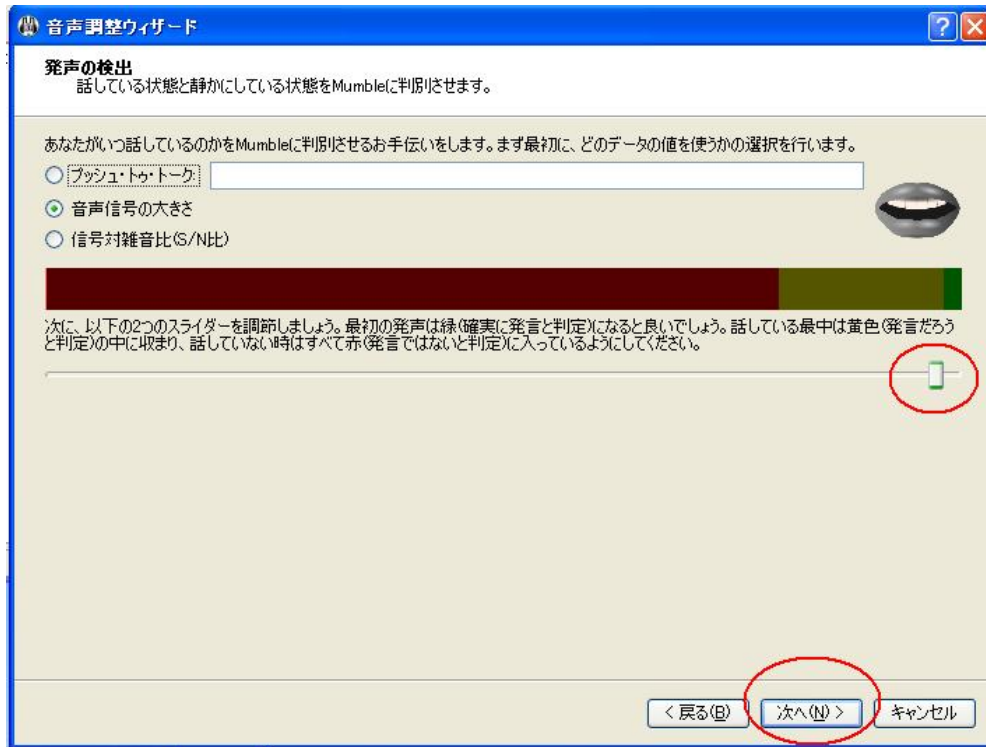
マイクの音量を最適な設定にします。



1-5. 発声の検出

発声検出でマイク入力をオンにするための調整をします。

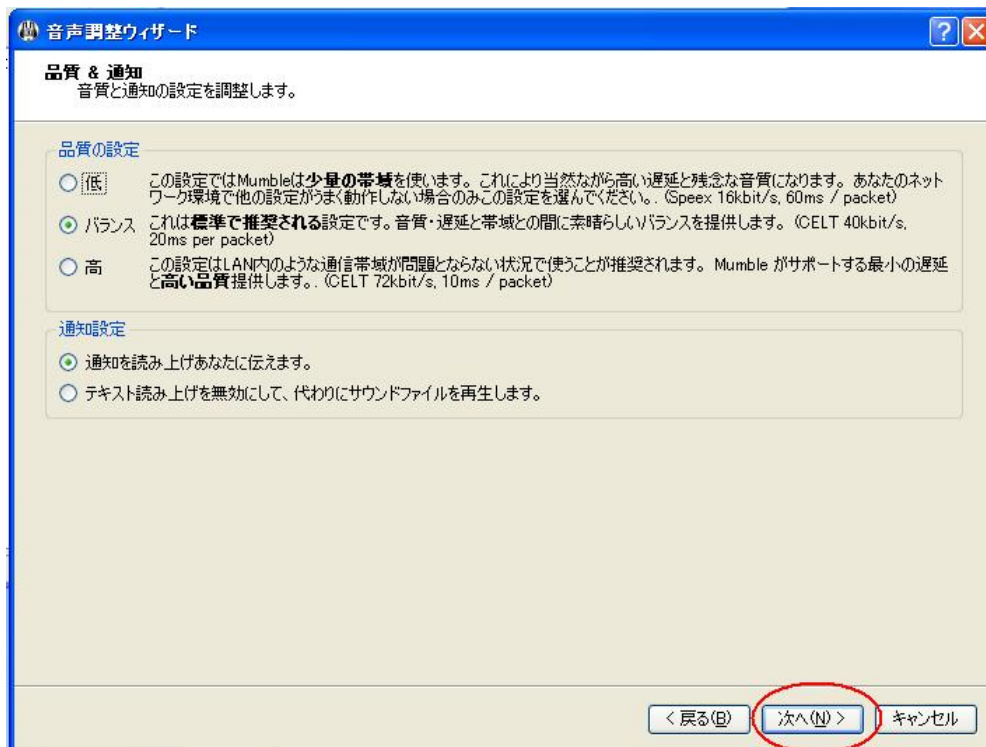
* 普段の声の大ききで感知するように調整します。



1-6. 発声の検出

品質の設定 「バランス」にします。

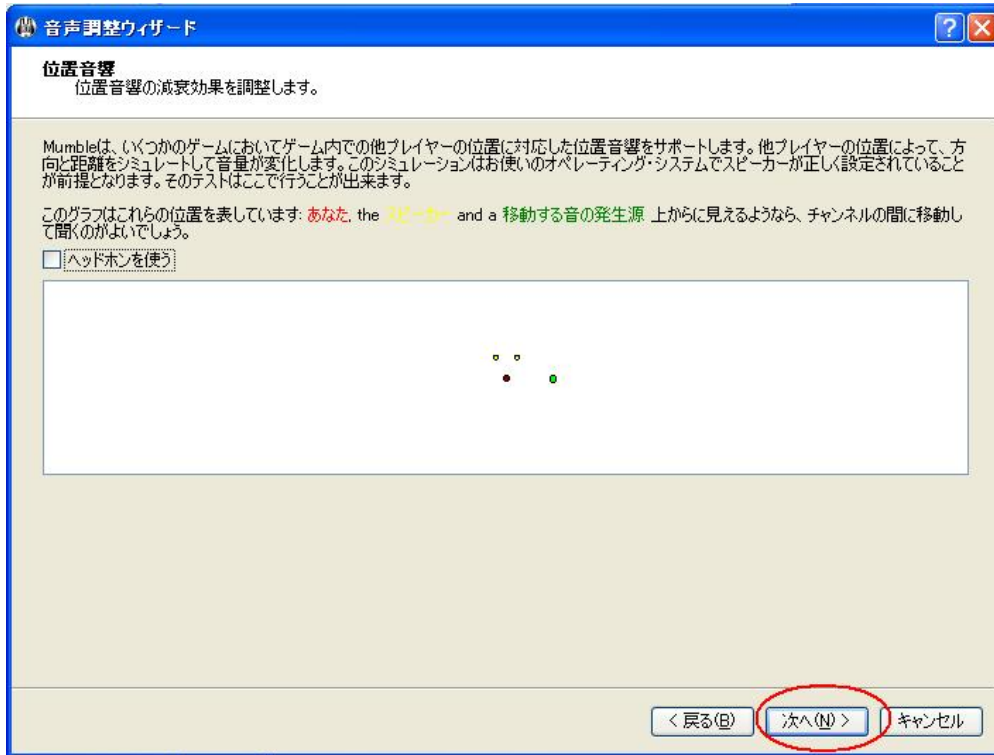
通知設定 「通知を読み上げあなたに伝えます。」にします。



1-7. 位置音響

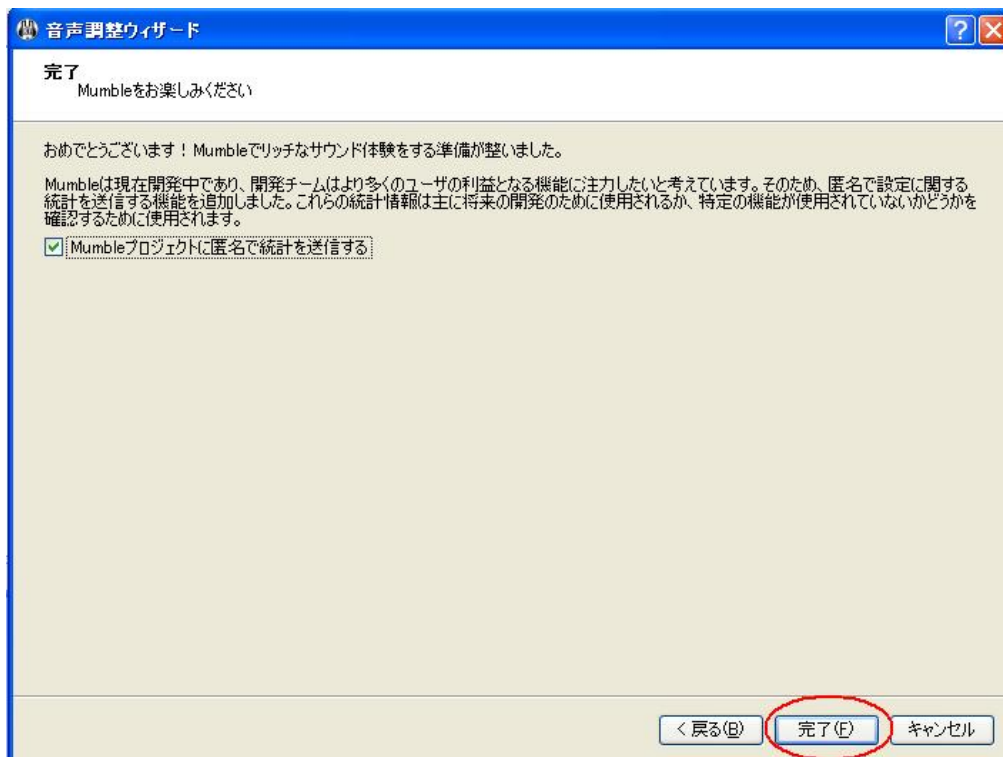
特に使用しません。

デフォルトのまま「次へ」をクリックします。



1-8. ウィザード完了

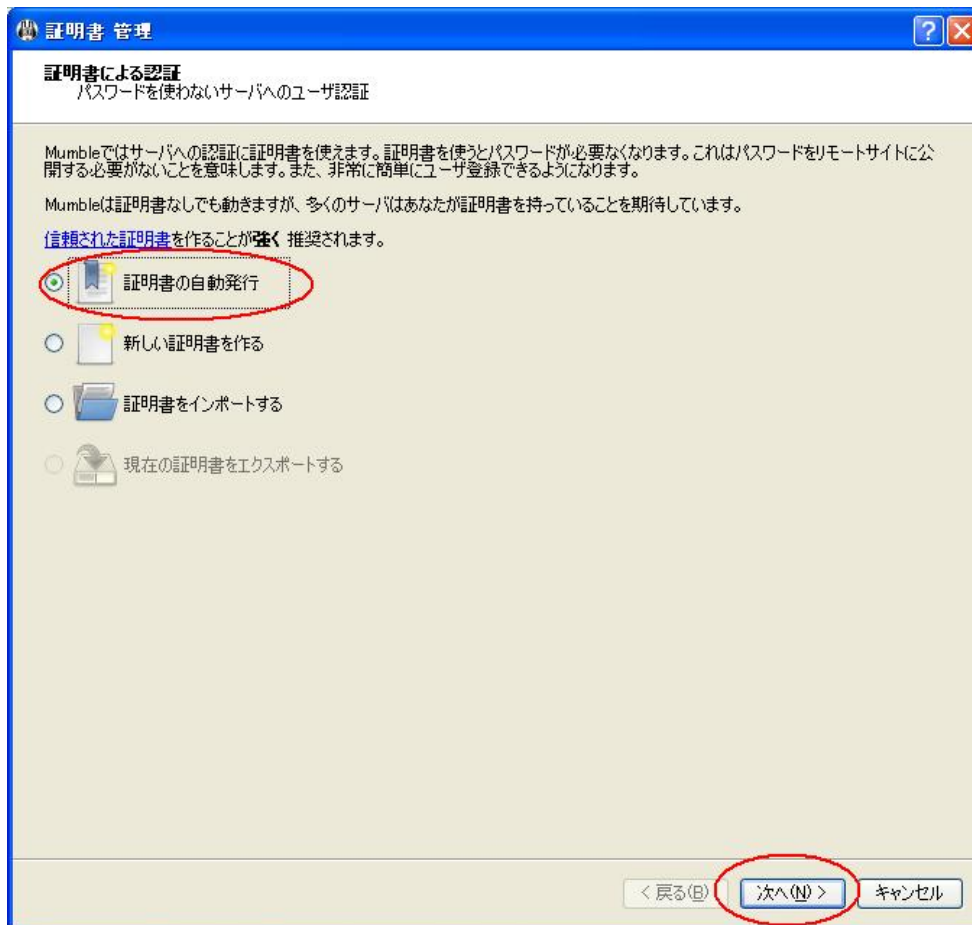
「Mumble プロジェクトに匿名で統計を送信する」にチェックをいれます。



(*) クライアントの 設定から音声調整ウィザードの再設定が可能です。

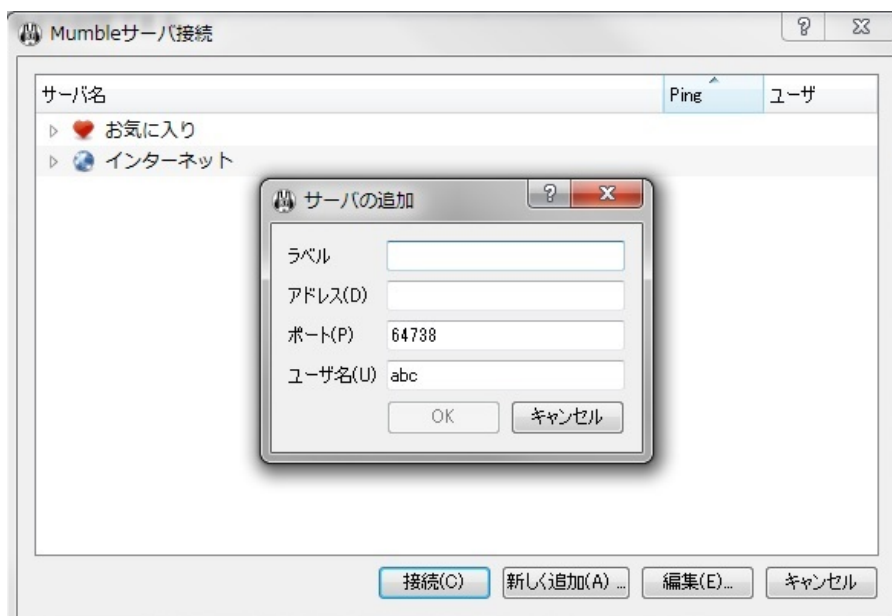
2) 証明書ウィザード

「証明書の自動発行」を選択して「次へ」をクリックします。



3) サーバ登録・接続

どこカメ® サーバ接続のウィンドウが表示されます。



1. 「新しく追加」をクリックします。
2. ポップアップしてきた「サーバの追加」ウィンドウで以下の情報を入力します。

入力例)

ラベル : Docokame

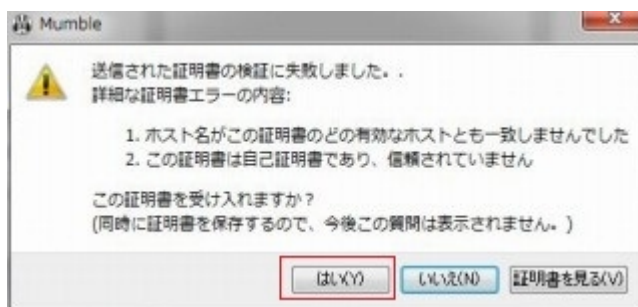
アドレス : dococame1.sun.ddns.vc

ポート : 64739

ユーザ名 : Docokame_User

3. お気に入りに「Docokame」が追加されます。
4. 「Docokame」をクリックして、接続します
5. 初回接続時には証明書の受け入れとパスワードの入力が必要です。

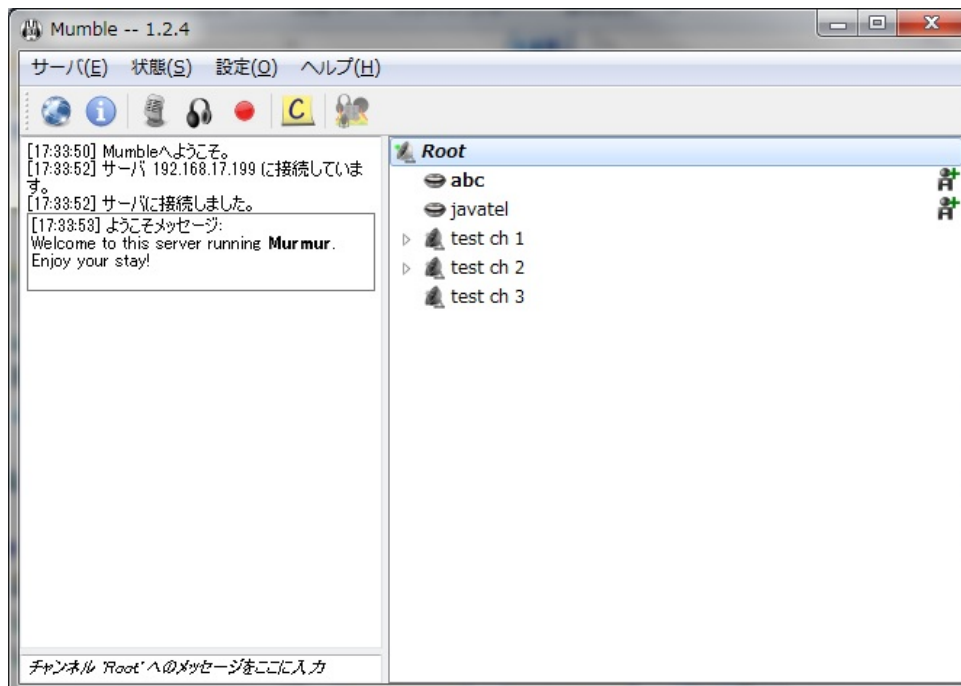
* 証明書の受け入れ



「はい」をクリック

* パスワード : ****

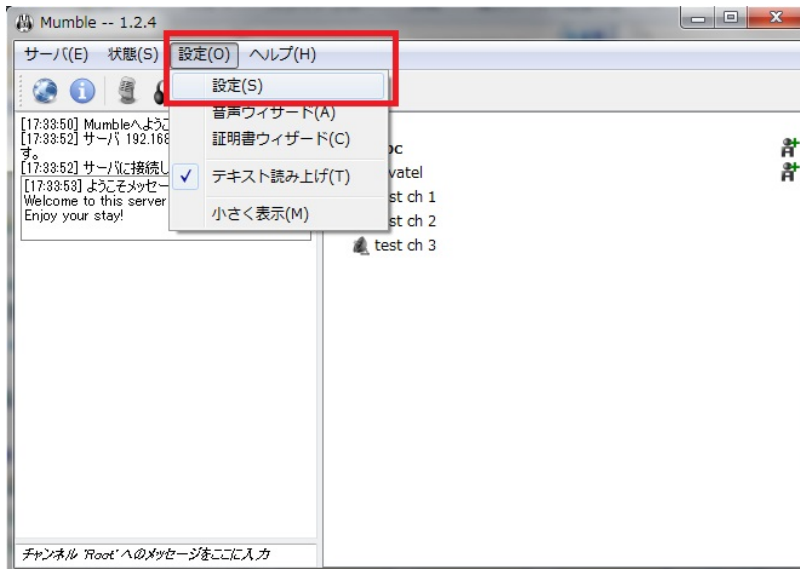
6. サーバに接続すると以下のような画面が表示されます。



4) 各種設定

4-1. プッシュ・トゥ・トーク設定

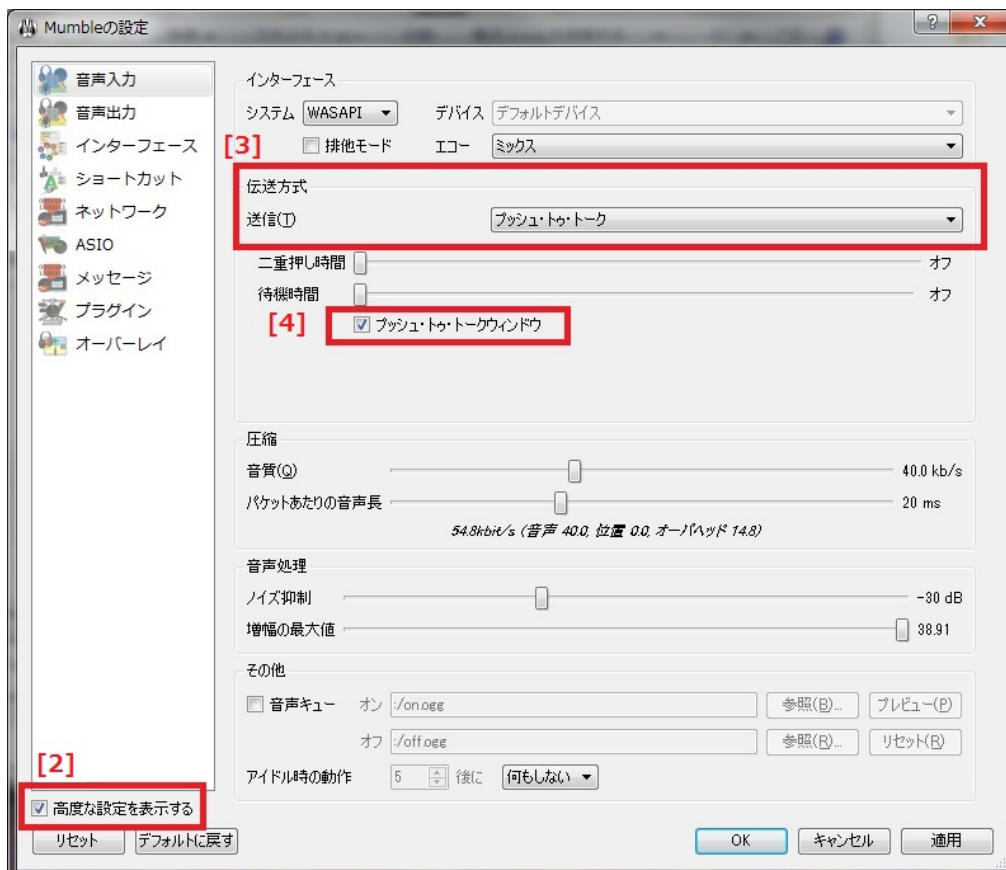
[1] 「設定」タブの「設定」をクリックします。



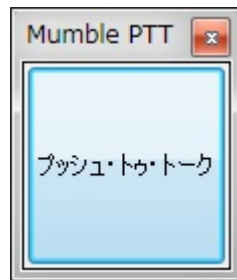
[2] 左下にある「高度な設定を表示する」にチェックを入れます。

[3] 「伝送方式」—「送信」を「プッシュ・トゥ・トーク」に選択します。

[4] 「プッシュ・トゥ・トークウィンドウ」にチェックを入れます。



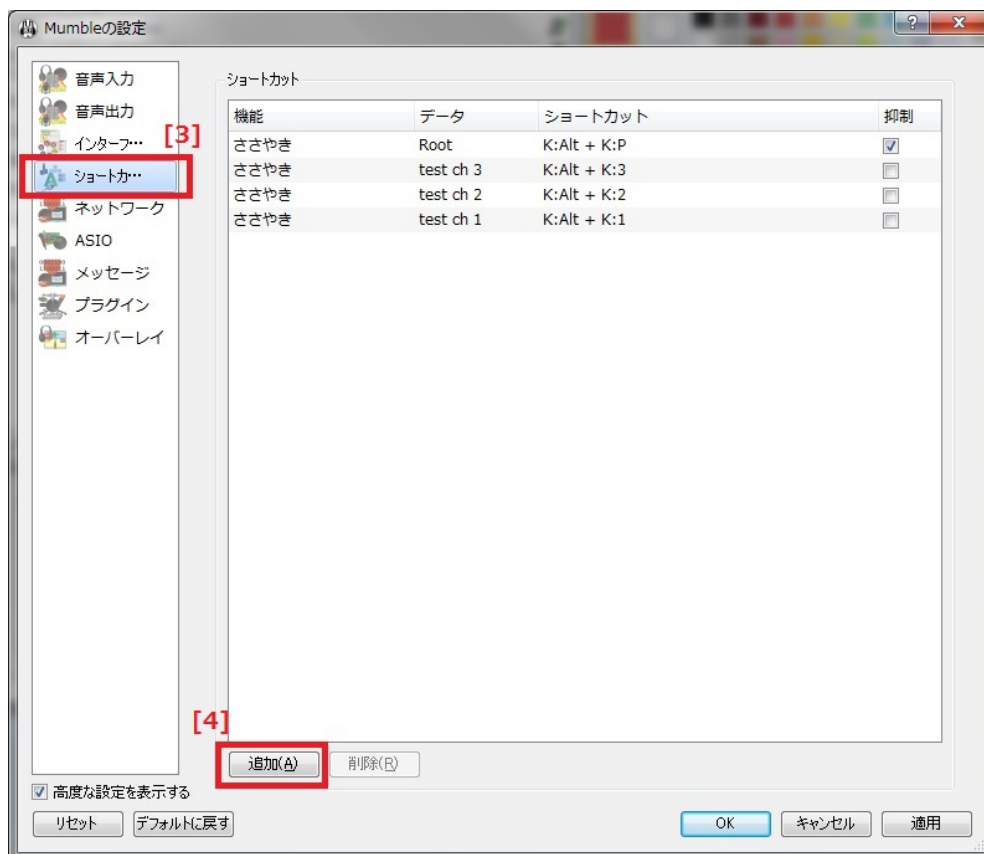
- [5] デスクトップに Mumble PTT のウィンドウが表示されます。



これをクリックすると、その間のみマイク入力の有効になり、クリックをやめるとマイク入力が無効になります。

4-2. ショートカットキー設定

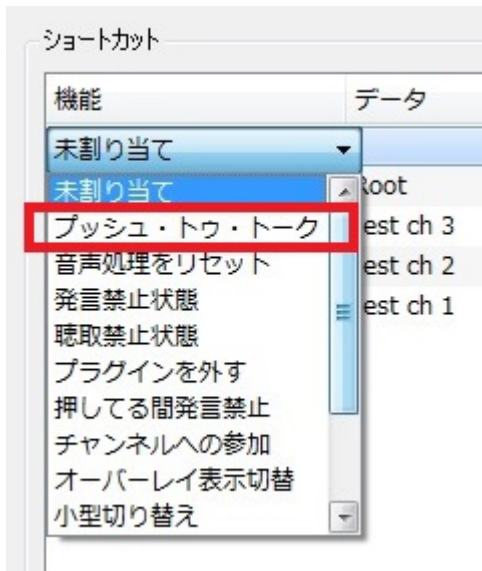
- [1] 「設定」タブの「設定」をクリックします。
- [2] 左下にある「高度な設定を表示する」にチェックを入れます。
- [3] 左のカラムより「ショートカット」を選択します。
- [4] ショートカットを追加する場合は「追加」をクリックします。



- [5] リストの機能の項目に「未割り当て」が追加されるので、それをクリックします。



- [6] 表示されるスクロールリストから追加したい機能を選択します。
ここではプッシュ・トゥ・トークを選択して説明します。



*他に選択できる機能は以下の項目 (V1.2.4 の場合)

- ・プッシュ・トゥ・トーク
- ・音声処理をリセット
- ・発言禁止状態
- ・聴取禁止状態
- ・プラグインを外す
- ・押している間発言禁止
- ・チャンネルへの参加
- ・オーバーレイ表示切替
- ・小型切り替え
- ・音量を上げる (+10%)
- ・音量を下げる (-10%)
- ・ささやき
- ・チャンネルのリンク

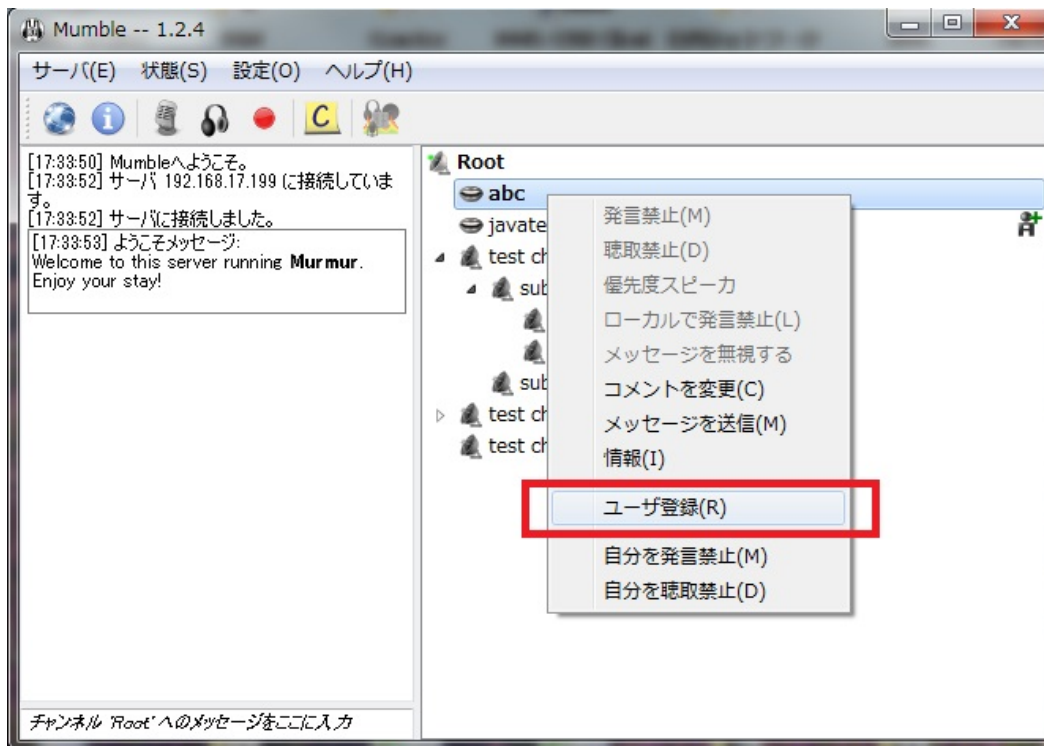
- [7] 機能を選択したらショートカットキーを設定します。

* 「抑制」にチェックをいれると他のアプリケーションのショートカットキーを抑制することができます。

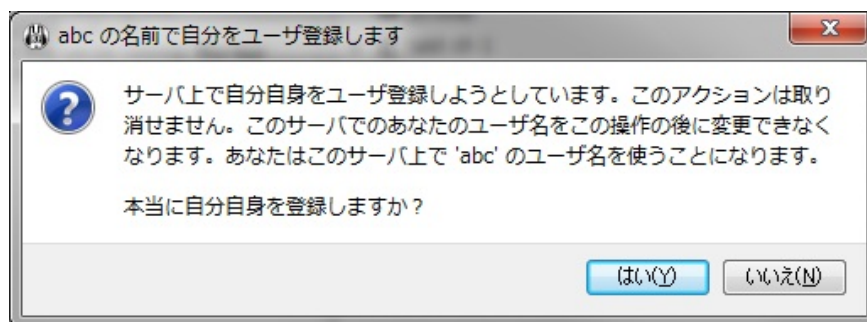


4-3. ユーザ登録

- [1] 自分のユーザ名の上で右クリックを押します。表示されたリストから「ユーザ登録」をクリックします。



- [2] ユーザ登録確認のウィンドウが表示されます。「はい」をクリックします。
一度登録するとユーザ名は変更できません。
管理者や管理者権限をもつユーザは登録したユーザのユーザ名変更や登録の削除ができます。



ユーザ登録をするとサーバに記録され、ACL リスト適用やグループメンバーに登録することができます。

*Javatel クラウドサーバでは管理者権限をもつユーザが他のユーザ登録できるように設定しております。

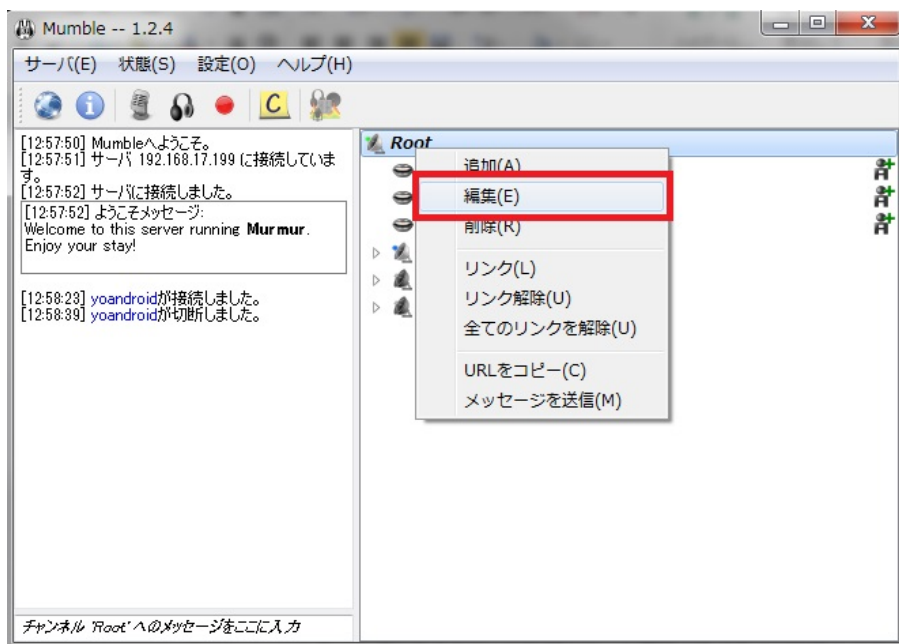
4-4. ACL(アクセスコントロール)

チャンネルごとに ACL (アクセスコントロール) 権限が設定できます。

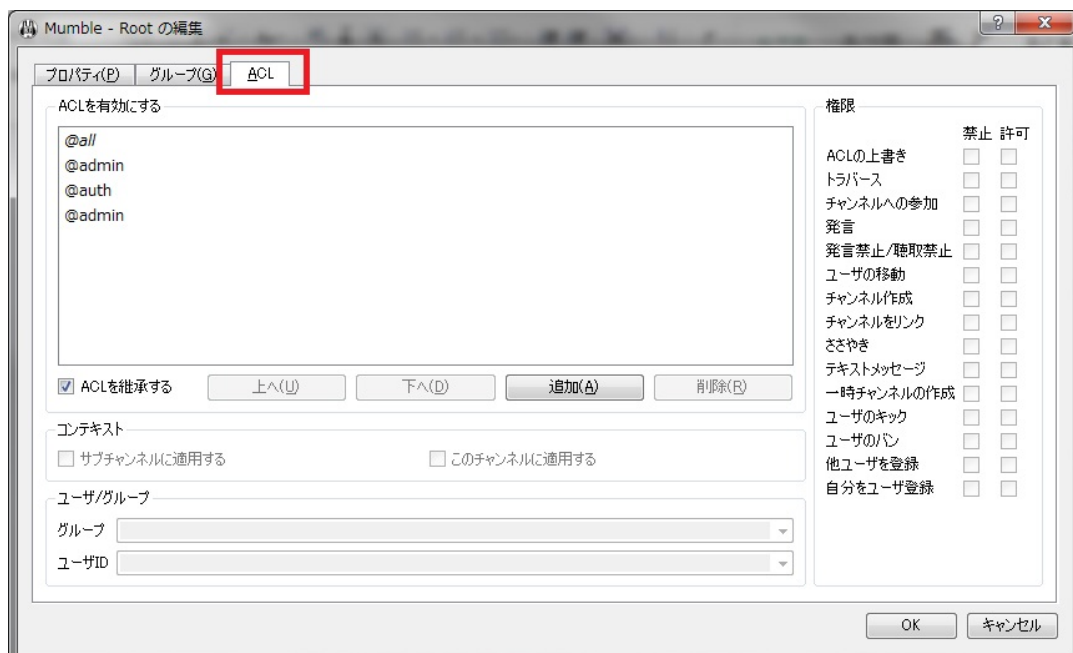
チャンネルでのアクセス権限適用はグループごともしくはユーザごとに設定できます。

*初期設定では管理者権限ユーザ (SuperUser や admin グループにいるユーザ) のみが ACL 権限の設定ができます。

[1] チャンネル名の上で右クリックを押して表示されるリストから編集を選びます。



[2] 「ACL」タブを選択します。



[3] アクセス権限の種類

制御可能なアクセス権限は次のとおりです。

○ACL の上書き

チャンネルの ACL を編集する権限です。

この権限を持つユーザは ACL やユーザグループの編集ができます。

チャンネルを削除する権限もここに含まれます。

SuperUser は、ACL をどのように変更しても 発言以外の全ての権限を持ちます。

○ トラバース (チャンネルアクセス)

チャンネルとそのサブチャンネルへのあらゆるアクセスを行う権限です。

○ チャンネルへの参加

チャンネルへの参加する権限です。

○ 発言

ボイスチャットを使って発言をする権限です。

○ 発言禁止/聴取禁止

他のユーザの発言の可否、聴取 (聞き取り) の可否を変更する権限です。

○ ユーザの移動

ユーザをキック (特定のユーザをサーバから追い出します。)

○ チャンネル作成

チャンネルを作成する権限です。削除する権限はありません。

○ チャンネルをリンク

チャンネルをリンクする権限です。

リンクすると双方のチャンネルで発言・聴取が可能になります。

○ ささやき

ささやき (参加しているチャンネルのみに発言する) の機能を使う権限です。

○ テキストメッセージ

テキストメッセージ機能を使う権限です。

○ 一時チャンネルの作成

一時的なチャンネルを作成する権限です。

一時的なチャンネルは参加するユーザがいなくなると削除されます。

○ ユーザをキック

特定のユーザをサーバから追い出します。

○ ユーザをバン

特定のユーザのサーバへの接続を禁止します。

バンリストに、ユーザの IP アドレスを登録してバンされたユーザの再接続を禁止します。

○ 他ユーザを登録

root チャンネルでのみ設定可

他のユーザの登録ができるようにします。

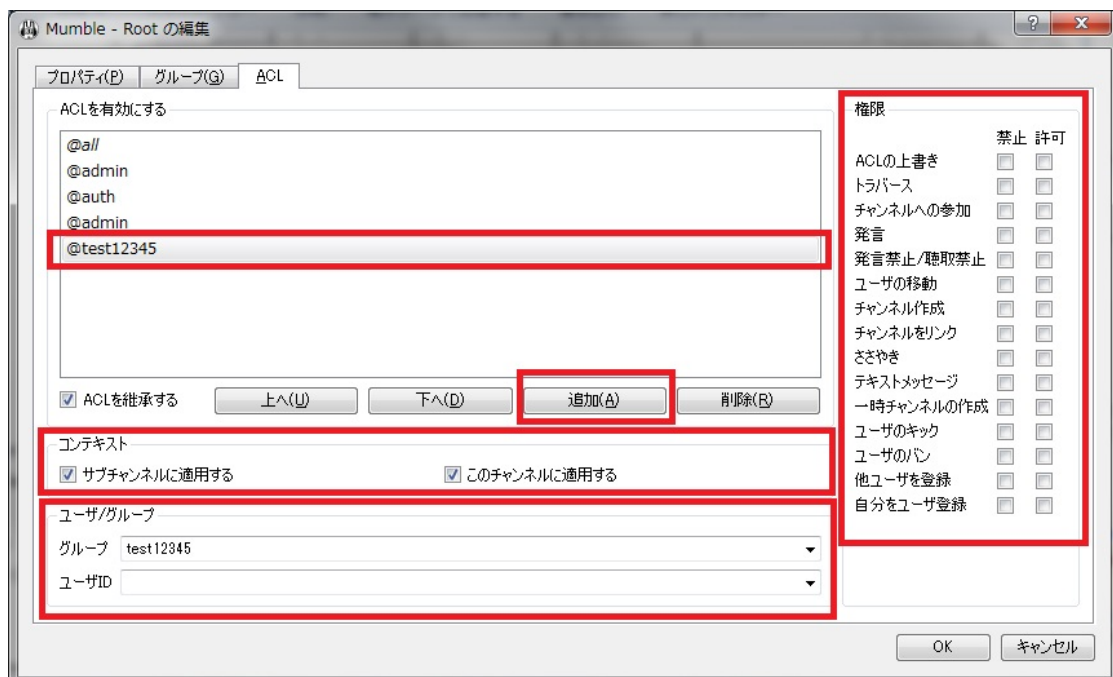
○ 自分をユーザ登録

root チャンネルでのみ設定可

自分をサーバにユーザ登録する権限です。

[4] ACL の追加

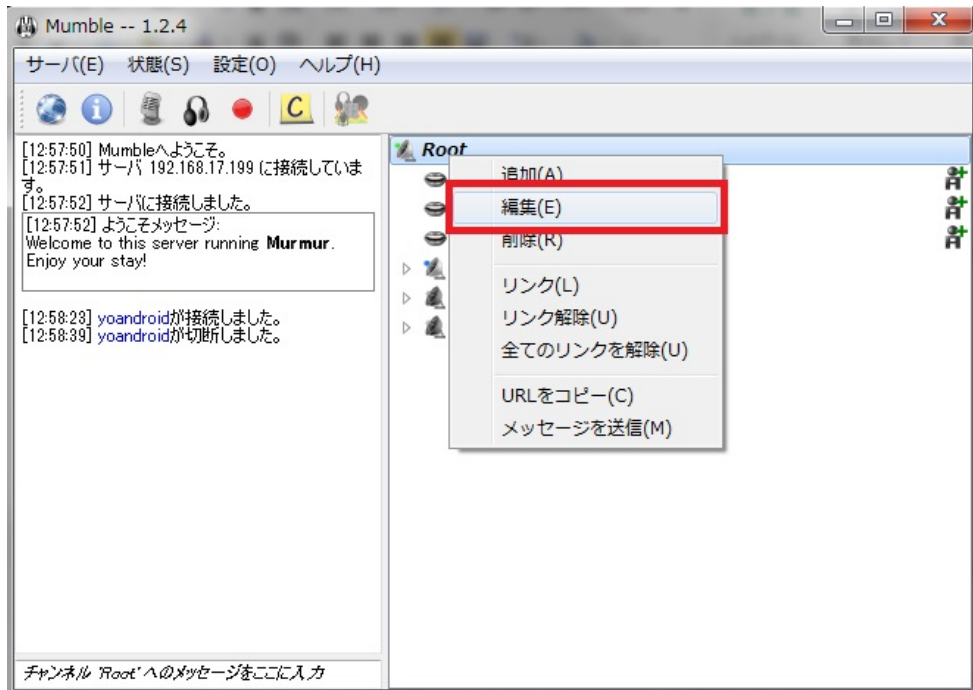
- ・「追加」をクリックします。
- ・「ユーザもしくはグループ」で ACL 権限を適用グループまたはユーザを設定します。
- ・「コンテキスト」で ACL 権限を適用するチャンネル範囲を設定します。
- ・「権限」で適用したい ACL 権限を選択します。



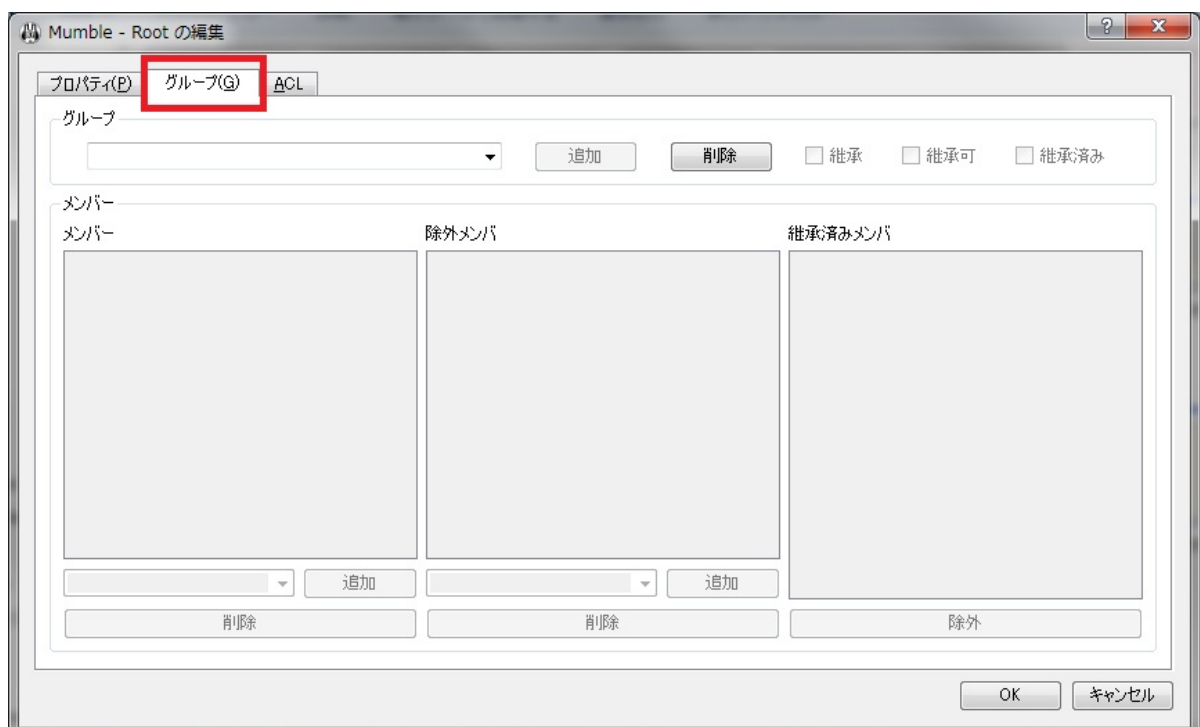
4-5. グループ

- ・グループには基本的なグループ（全ユーザ、サーバ登録ユーザ、管理者ユーザなど）とユーザが設定できるグループがあります。
- ・ユーザが設定できるグループに追加・除外できるのはサーバに登録済みのユーザのみです。

[1] チャンネル名の上で右クリックを押して表示されるリストから編集を選びます。

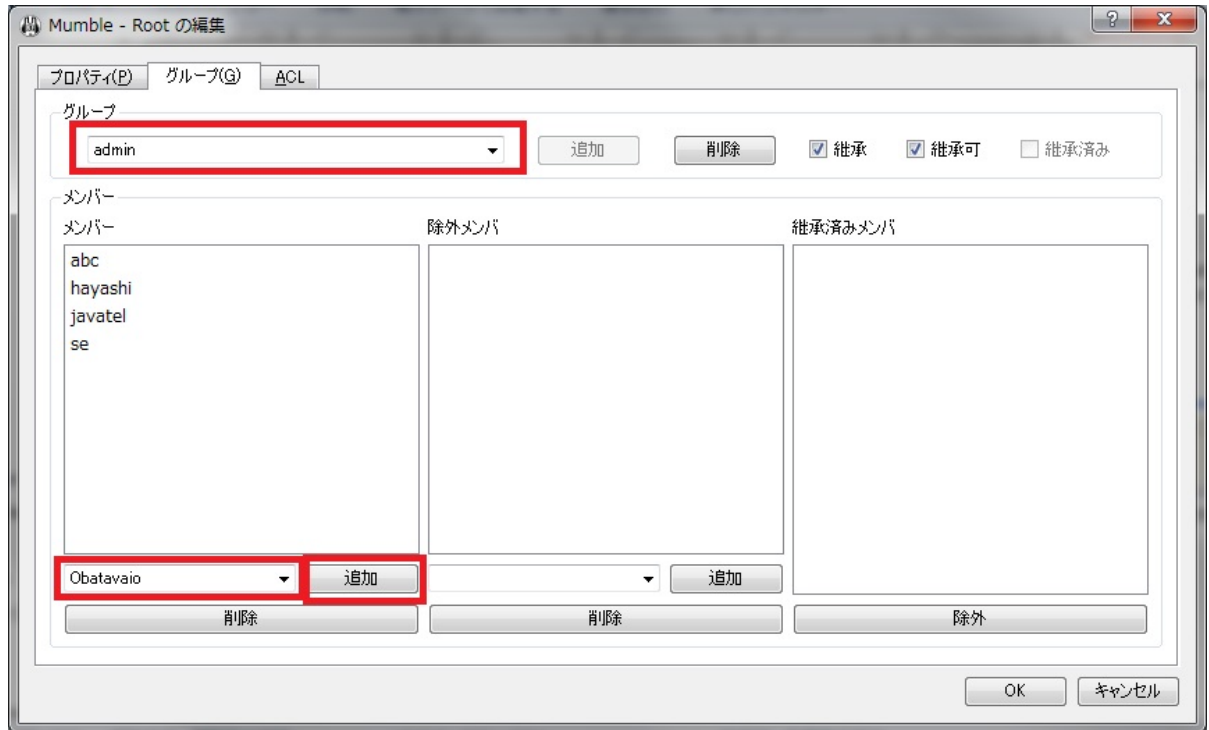


[2] 「グループ」タブを選択します。



[3] 「グループ」へのメンバー登録・除外

- ・「グループ」にユーザをメンバー登録・除外したいグループ名を入力します。
- ・メンバー登録の場合：メンバー追加したいユーザ名を入力して「追加」をクリックします。



メンバー除外の場合も同様に行います。

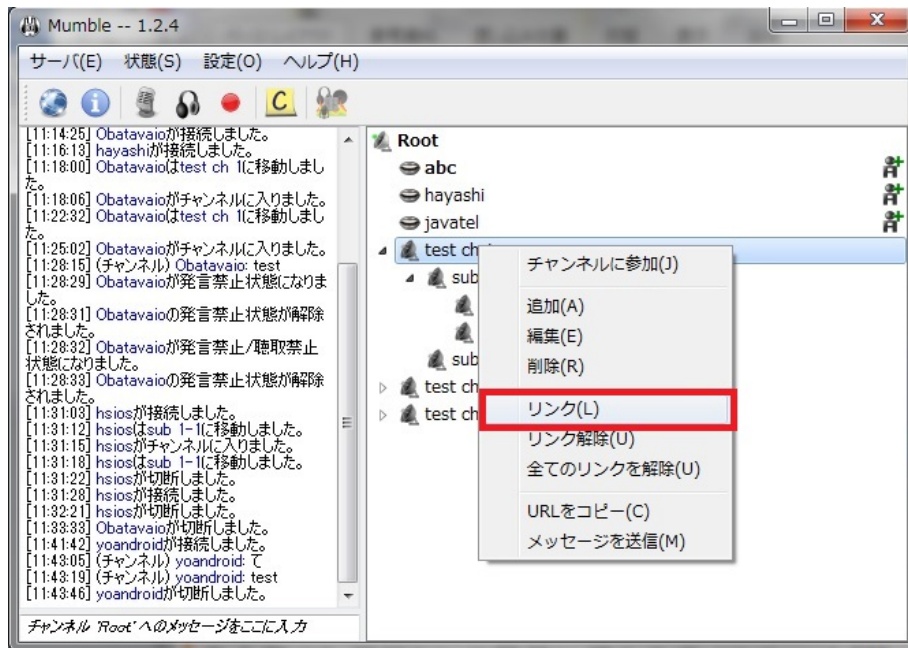
各チャンネルに ACL 権限設定を行ない、かつ、ユーザをグループ所属させることにより、どこカメ® の利用方法をコントロールできます。

5) チャンネル間のやりとり

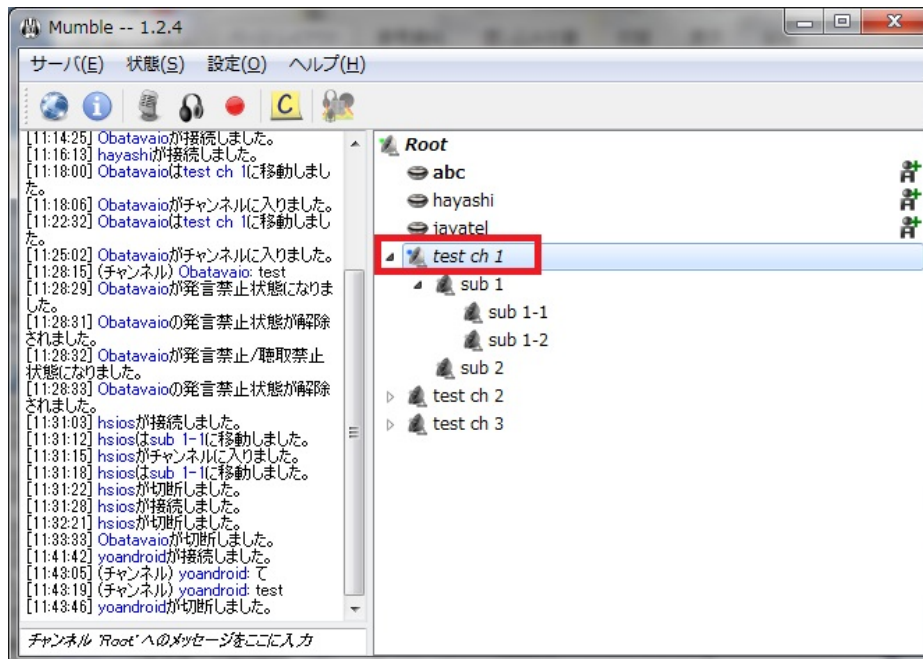
リンクを作成して、チャンネル間の音声やりとりが可能になります。

リンクの作成は ACL でリンク作成の権限がある場合に限りです。

○リンクを作成したいチャンネル名の上で右クリックして、「リンク」を選択します。



○リンクが作成されるとチャンネルのアイコンが以下のように変化します。



○リンクを解除する場合には、チャンネル名を右クリックして、「リンク解除」を選択します。

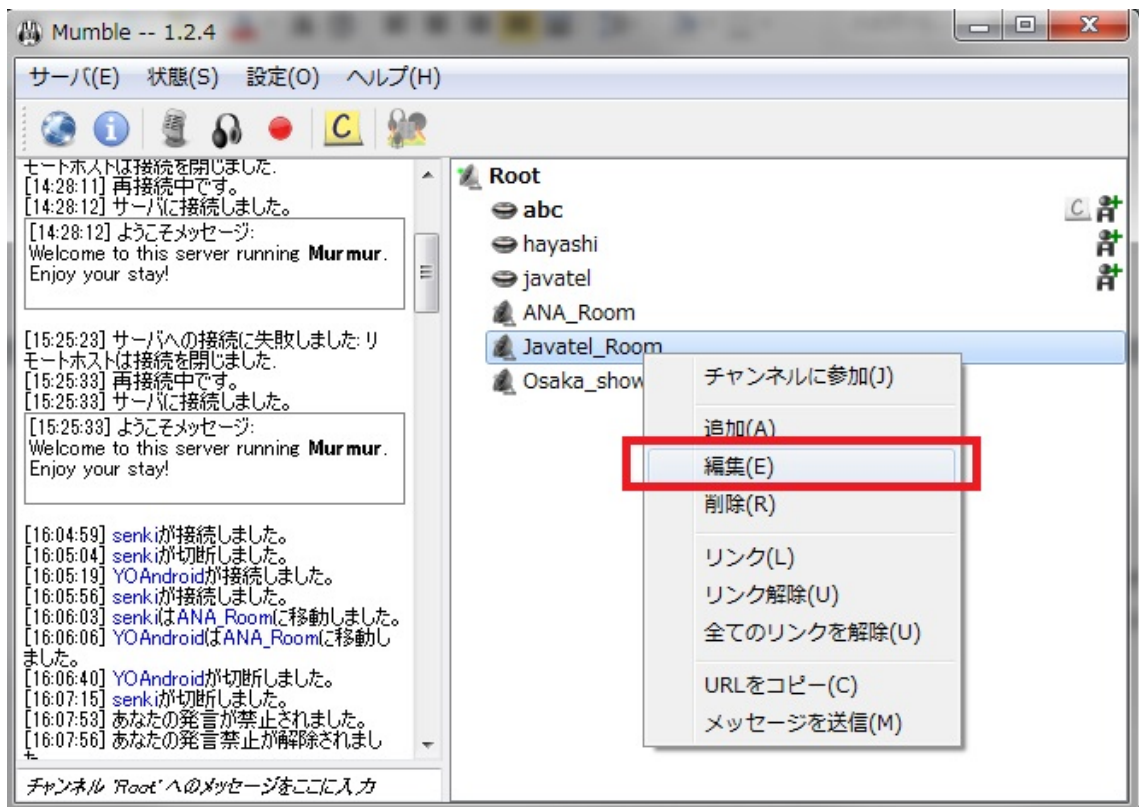
*全リンクを解除する場合には「すべてのリンクを解除」を選択します。

6) アクセストークン

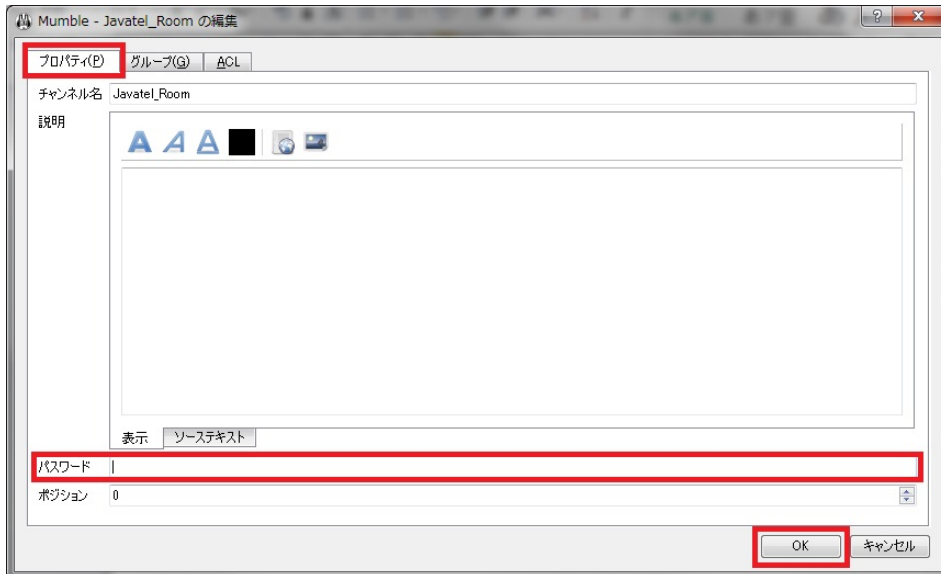
作成したチャンネルにパスワードを設定することで利用するユーザを制限することができます。チャンネルに参加するには「アクセストークン」にてチャンネルのパスワードをあらかじめ設定する必要があります。

チャンネルのパスワード設定方法

- 管理者権限を持つユーザがアクセストークンを設定したいチャンネル上で右クリックを押して、メニューを表示させます。メニューから編集を選択します。



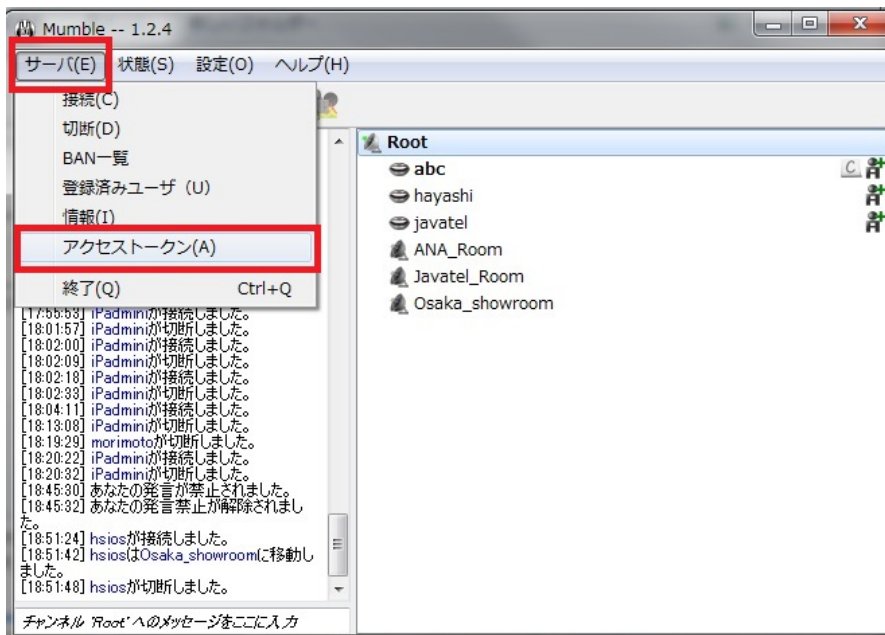
- チャンネル編集画面の「プロパティ」タブの「パスワード」でパスワードを入力します。OK を押して登録します。



アクセストークン設定方法

パスワードが設定されたチャンネルに参加するにはアクセストークンを設定する必要があります。

○メニューバーの「サーバ」から「アクセストークン」を選択します。

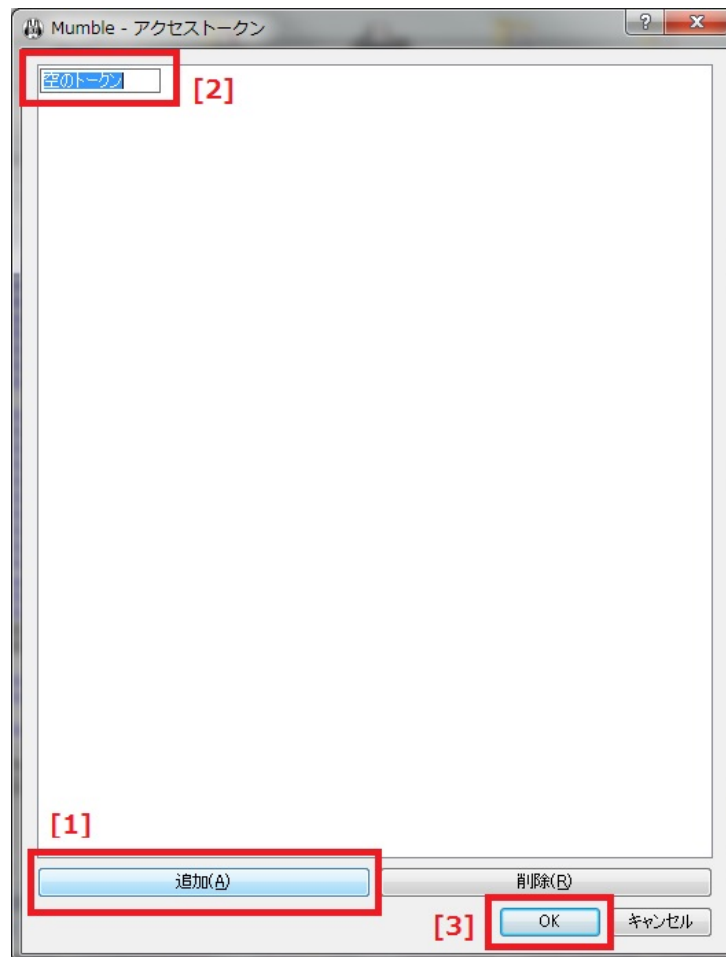


○アクセストークン設定画面が開きます。

[1] 「追加」をクリックします。

[2] 「空のトークン」が作成されますので、そこにチャンネルのパスワードを入力します。

[3] 入力を終わったら「OK」をクリックします。



これでアクセストークンの設定が完了しました。

アクセストークンに入力したパスワードを設定しているチャンネルに参加することができます。

*専用チャンネル にはそれぞれアクセストークンを設定しています。

アクセストークンの設定については管理者にお尋ねください

Javatel クラウドサーバ :

- 各チャンネルにパスワードを設定しました。
- 会話はチャンネルに移動し、その中で行ってください。
- 全ユーザ共通の Root チャンネルでは「発言を禁止」する設定を行なっています。

以上